

2023 年度第 2 回競争契約監視委員会 議事概要

日時：2023 年 11 月 24 日（金）10 時 00 分～12 時 00 分

場所：成田国際空港株式会社 東京事務所

出席：（委 員）日本大学大学院法学研究科 藤村和夫講師 （委員長）
早稲田大学理工学術院 柴山知也教授 （委員長代理）
神奈川大学 細田孝一名誉教授
宇都宮大学地域デザイン科学部 藤原浩己学部長
（N A A）整備部、施設保全部、調達部、法務コンプライアンス部
※ 事務局：法務コンプライアンス部コンプライアンスグループ

議事：

1. 開会の挨拶

2. 契約状況等

調達部より、契約状況、随意契約理由及び取引停止措置について説明

	委員からの質問・意見	N A A からの回答
1	<p>一般競争入札の落札率が大幅に下がっているが、この結果は発注者側に有利な状況であったと言えるのか。</p> <p>また、工事の一般競争入札、公募型競争契約の総合評価方式で落札率が下がっている。総合評価方式であるが故に下がっているのか。</p>	<p>今回の一般競争入札の落札率が下がった要因は、フライトインフォメーション更新工事（2023）によるものであった。当該工事は約 30 年ぶりのシステム刷新工事であったこともあり、競争が働いたため発注者側が有利であったと思料される。</p> <p>また、総合評価方式であるが故に下がったというよりは、フライトインフォメーション関係工事 2 件において競争が働いた結果によるものである。</p>
2	<p>技術者不足での辞退が増えているとのことだが、技術者不足は受注企業の問題だけではなく、発注企業が育てるという体制が必要という考えはあるか。全体的な市場として業界で技術者を育てることで競争が働くと思う。今後考えてもらいたいと思っている。</p>	<p>発注企業として技術者の育成について出来ることを検討する必要があると考えており、当社としてどのようなことが出来るか検討したい。</p>

3. 個別契約について

調達部より、以下 3 件の概要及び契約方式について説明

■ 日航貨物ビル作業棟中二階変電設備増設工事

	委員からの質問・意見	N A Aからの回答
1	地域共生型について、NAAとして地元企業の落札件数に満足しているのか教えてほしい。総合評価方式は点数の重みづけが全てなので、従前の方法が正しいのではなく、実績を見ながら配点が正しいのかを検討して欲しい。	地元企業の落札件数については、現段階では良い数字だと思っている。今後については、点数の重みづけ等、ご意見を参考に検討していきたい。
2	低見積調査資料の業者回答に「信頼関係があるから安価な調達が可能」とあるが、信頼関係があると安価な調達が可能なものなのか。	信頼関係だけで安価な調達ができるとは限らないが、本件においては元請け業者が設備状況を熟知しており、信頼関係があり最適と思う下請業者の見積を採用したことによる。低見積価格調査時のNAAの判断としては、他の要素も併せて判断している。

■ フライトインフォメーションシステム更新工事（2023）

	委員からの質問・意見	N A Aからの回答
1	見積活用方式を用いたところ、低見積価格調査となったと思うが、従来の方で実施した場合と比べてどうであったかなど、案件によっては不向きなものもあると思われるため、試行結果を踏まえて検討してほしい。	承知した。
2	「価格点においては、見積価格および引き渡し後10年間の保守費を評価する」と記載があるが、契約制限価格に保守見積額は含まれているのか。各社の保守費の差が委員会資料から読み取れない。	契約制限価格及び入札価格は工事費のみが対象である。価格点は工事費と保守費により算出しているが、委員会資料上で保守金額の表示ができていなかった。今後、表示できるようにする。
3	保守費を含めた価格点の算出について、今回のように入札価格に比べて契約制限価格が大きくなってしまうと保守費のウェイトが低くなってしまう。検討してほしい。	承知した。
4	低見積価格調査で保守費も調査対象となっているか。保守は別途随意契約なのか。 保守費は参考見積になるのか。随意契約時に今回の見積額より高い金額だった場合、ペ	工事費を対象とし低見積価格調査を実施しており、保守は別途随意契約となる。 標準の仕様書に対して、10年間メンテナンスをした場合の金額を提出してもらって

	ナルティはあるのか。	いる。その額を超えないように誓約書も提出いただいている。
5	価格点の算出においては、法律で点検が義務付けられるようなメンテナンスと自主的に行うメンテナンスでは分けて考えなくてはいけないのかもしれない。例えばエレベーター点検などは、故障が無くても点検の義務がある。メンテナンス自体が商売となるような点検は、価格点に含まなければならないが、本件はそのような案件ではないと思う。メンテナンスが確実に見通せるものは、契約時点で優劣を決めるべき要素であると思う。	ご意見を参考に検討していきたい。

FIS 自動放送設備更新工事（2023）

	委員からの質問・意見	N A Aからの回答
1	落札者の技術点が低い、0点の項目があっても N A A としては良いと考えるか。	仕様書上の要件を満たしていることは確認できており、技術点は加点項目と考えているため問題はないと考えている。

6. 全体を通しての意見

	委員からの質問・意見	N A Aからの回答
1	見積活用方式の結果・状況を知りたい。 社内で積算した場合の落札率がどうだったのかを知りたい。 今後も活用できるのか疑問を持っている。	現在試行を行っており、今後試行結果を分析し、ご報告したい。

	委員長からの講評	
1	本日、審議した案件については、談合が疑われる案件がないという意味で適正であったと判断する。	

8. 次回開催日程について

次回の委員会は、2024年6月7日（金） 10時開催予定
 ※案件抽出については細田委員が担当

9. 閉会の挨拶

以上